

# 庁舎耐震化整備方針アンケート調査 報告書（速報版）

平成25年2月

志木市

## 1. 調査目的

市では、市庁舎について、老朽化が進んでいるとともに、現在の耐震基準に適合しておらず、耐震化をする必要があることから、市庁舎の耐震化に向けて整備方針を検討している。整備方針の策定に向けて、市民の皆様を検討状況をお知らせし、様々な意見をうかがうことを目的としてアンケート調査を実施した。

## 2. 調査内容

- (1) 基本属性
- (2) 市庁舎の耐震化について

## 3. 調査実施概要

本調査は、以下の要領で実施した。

- (1) 母集団 市内在住20歳以上の男女
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送調査法（督促はがき1回）
- (5) 調査期間 平成24年10月25日～11月30日

## 4. 回収結果

- (1) 標本数 3,000人
- (2) 有効回収数 1,435人
- (3) 有効回収率 47.8%

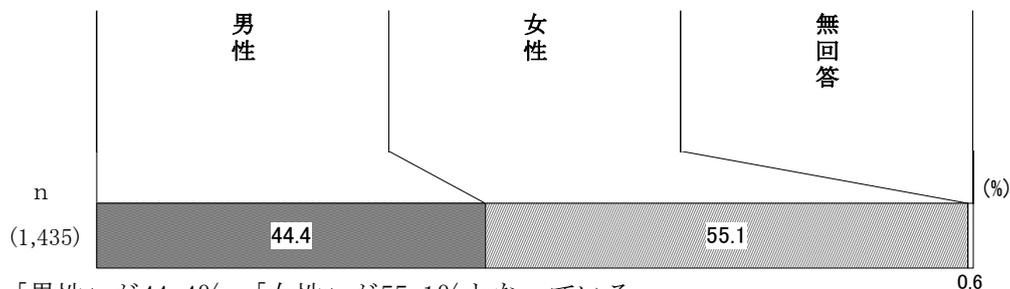
## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

## (1) 基本属性

### ① 性別

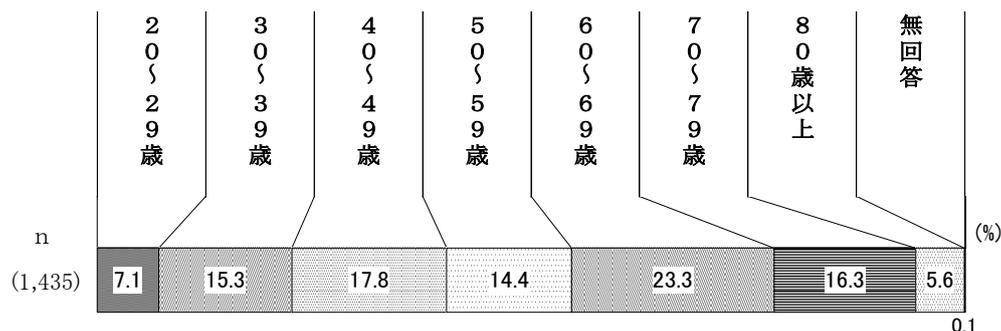
問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)



性別は、「男性」が44.4%、「女性」が55.1%となっている。

### ② 年齢

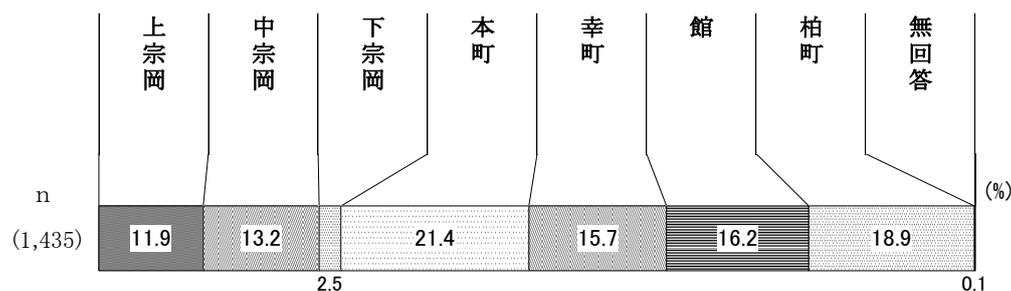
問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)



年齢は、「60～69歳」が23.3%で最も多く、次いで「40～49歳」が17.8%、「70～79歳」が16.3%となっている。

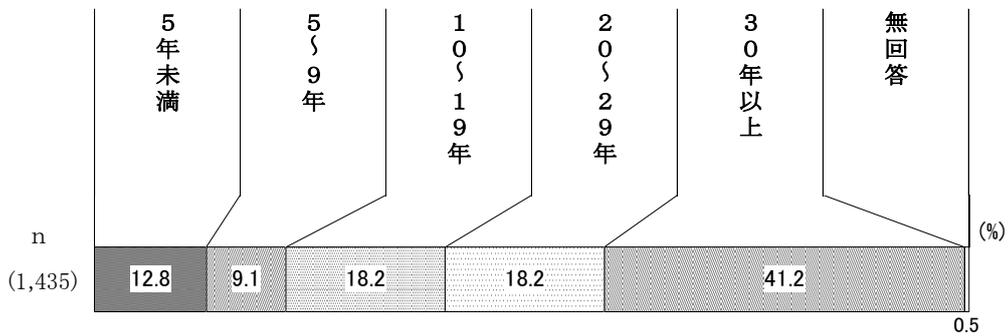
### ③ 地域

問3 あなたのお住まいの地域をお答えください。(〇は1つ)



④ 居住年数

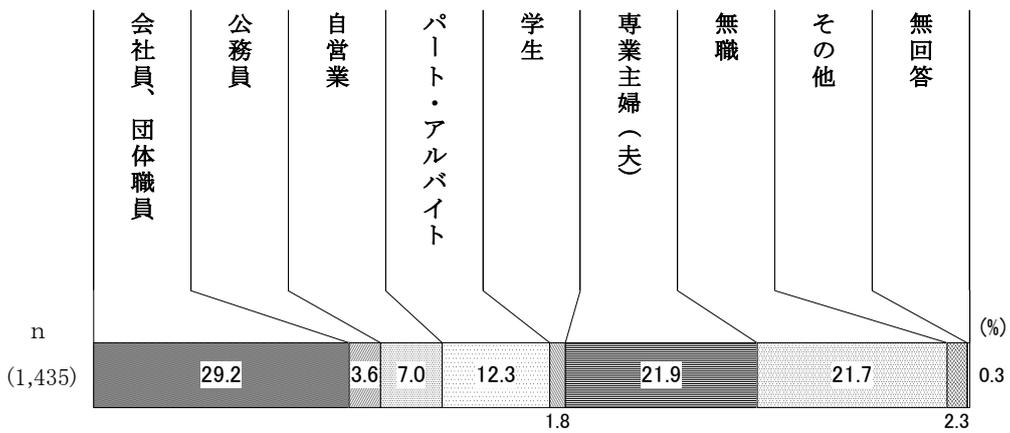
問4 あなたは、志木市に何年ぐらい住んでいますか。(○は1つ)



居住年数は、「30年以上」が41.2%で最も多く、次いで「10～19年」と「20～29年」がともに18.2%となっている。

⑤ 職業

問5 あなたの主な職業はどれにあてはまりますか。(○は1つ)



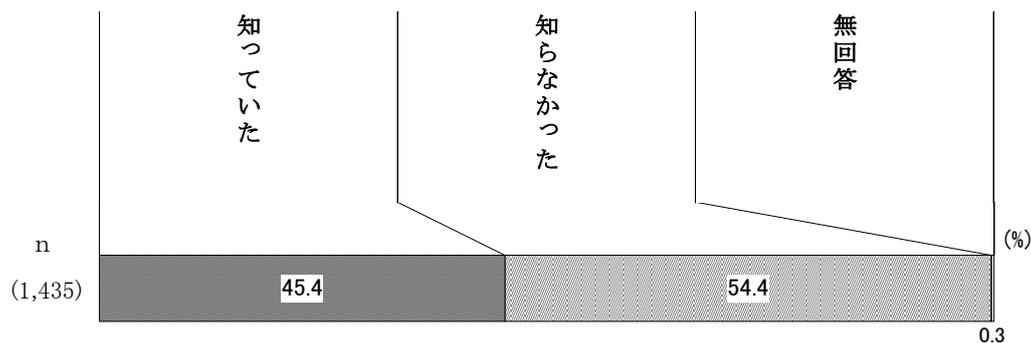
職業は、「会社員、団体職員」が29.2%で最も多く、次いで「専業主婦(夫)」が21.9%、「無職」が21.7%となっている。

## (2) 市庁舎の耐震化について

### ① 市庁舎倒壊の危険性の認知状況

問6 市庁舎は耐震診断の結果、耐震基準を満たしていないため、おおむね震度6強以上の大地震に対して倒壊または崩壊する危険性がきわめて高いとされています。

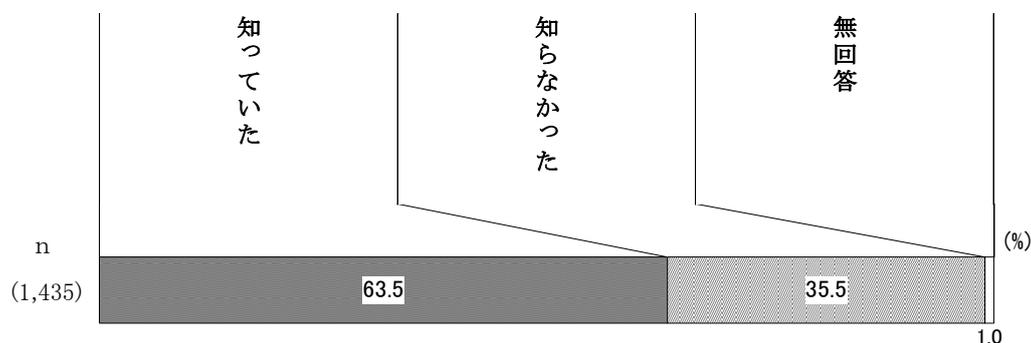
このことについては、広報しきや市ホームページでお知らせしてまいりましたが、ご存知でしたか。(〇は1つ)



市庁舎倒壊の危険性については、「知っていた」が45.4%、「知らなかった」が54.4%となっている。

### ② 災害対策本部設置の認知状況

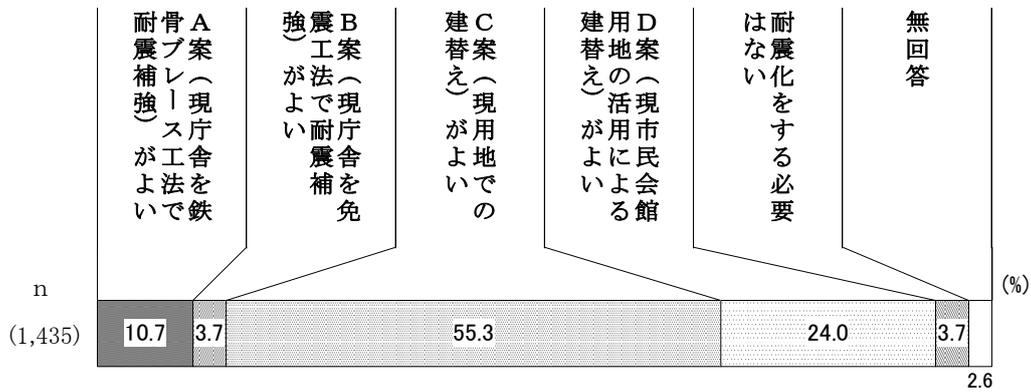
問7 市庁舎は、大規模な災害時に「災害対策本部」が設置されて、総合的な災害応急対策にあたることになっていますが、このことをご存知でしたか。(〇は1つ)



災害対策本部の設置については、「知っていた」が63.5%、「知らなかった」が35.5%となっている。

③ 市庁舎耐震化の整備方法案としてふさわしいもの

問8 市では今後、市庁舎の耐震化（耐震補強工事又は建替え工事）を進めなければならないと考えていますが、あなたはどのような方法がよいと思いますか。（○は1つ）



市庁舎耐震化の整備方法案としてふさわしいものは、「C案」が55.3%で最も多い。以下、「D案」が24.0%、「A案」が10.7%、「B案」が3.7%と続いている。また、「耐震化をする必要はない」は3.7%となっている。